

## 夏の終わりの新型コロナウイルス感染

新型コロナウイルスの感染が止まりません。予想ではもうピークは過ぎて減少に向かう時期なのですが、学校が新学期を迎え、若い世代の人流が広がる状況下ではとても楽観的な予想はできません。市内では老人施設、病院のみならず診療所でも感染が広がっています。私も、往診でコロナ感染者に点滴したり、老人施設で亡くなった患者さんの死亡診断に行ったり（行きたくないと思いません）と、いくら感染防御しているからと言っても常に感染の危機に追い込まれています。国民の5人に一人が感染する状況下では既に全数把握、10日間の隔離は不可能となっており、発熱外来はこの暑さもあり毎日地獄のようで、職員ともども疲労が蓄積しています。

国は10日から7日に隔離期間を減らすことを検討していますが、ここまで感染が日常化していると不顕性感染者も多くいると考え、インフルエンザ並みの扱いにしないと社会が回らないと予想しています。

それでもウクライナで日々爆弾が飛んでくる日常より、よほど幸せだと自分を鼓舞しています。いつか来る平穏な未来に期待し、もうひと踏ん張りしようと思っています。なお御殿場市では休日のコロナ抗原検査を9月も行う予定です。少しでも市民の不安を軽減し、市内の医療機関の負担を軽減するため会員の先生方のご協力をお願いします。

